

新入会員の紹介

くらしの礎を「創る」「担う」「つなぐ」— Just For the Earth

JFEエンジニアリング株式会社

問い合わせ先：〒212-0013 川崎市幸区堀川町580 ソリッドスクエア西館9階

TEL：044-396-5195 FAX：044-396-5199

<https://www.jfe-eng.co.jp>

弊社は2003年の日本鋼管・川崎製鉄の事業統合・再編に伴い、エンジニアリング関連事業を日本鋼管が承継してスタートした、歴史はあるものの創業20年のまだまだ若い企業です。JFEという社名は、1つだけ「旧社名を使用しない」という条件付でグループ会社を含む両社の社員から公募したのですが、鉄の元素記号Feからイメージした者とJapan Future Enterpriseを創案した者、それぞれが同じJFE案を応募し、厳正なる審査の上で選定されたと聞いております。社名が「Jで始まるアルファベット3文字」ということで、発足当初は某サッカーチームや銀行と間違えられることも多く、お客様や取引先に社名を覚えていただくまでに相当時間を要しましたが、旧社名を使用しなかったことで企業文化の異なる両社の統合が比較的順調に進んだことは間違いありません。

弊社は、このように新しい企業ということもあり、社員構成が「サラダボウル」状態だと言われています。統合前からの社員に加え、新卒、キャリア、外国人についても積極的に採用した結果、社内の多様化が進み、「〇〇出身」という概念が意味をなさない状態になりつつあります。また最近では、SDGsやカーボンニュートラルの実現に向けて全社を挙げて活動する姿勢を反映して、JFE =

Just For the Earthがスローガンになりました。これも時代のニーズでしょう。

さて、弊社は総合エンジニアリング企業として、エネルギー、環境、水処理、鋼構造、産業機械など様々な分野における設計・施工・運営を生業としておりますが、当協会との接点は水道用鋼管パイプラインの建設に関する事業分野です。ご存じのとおり、高度経済成長期をピークに整備が進められた社会インフラについては、老朽化の進行と更新の遅れが大きな社会問題となりつつあり、水道管路についても例外ではありません。弊社では、これまで鋼管メーカーとして導・送水管や配水本管など大口径基幹管路の建設に携わって参りましたが、これらの水道管路についても更新時期を迎える施設が年々増加しています。その一方で、都市部においては開削工事そのものが困難になっており、主な更新手法としてはパイプ・イン・パイプ（PIP）工法もしくはシールドトンネル築造による管路更新に依らざるを得ないのが現状です。弊社は、加工性に富み、耐震性に優れた鋼管の特性を活用し、これら水インフラ施設の更新事業を通じて、わが国の水道の強靱化・持続に寄与して参りたいと考えています。

どうぞ宜しくお願いいたします。



鋼管の吊り降ろし



既設管内運搬



自動溶接